

2017年3月19日（日）週報 巻頭言

「その日、その時」

この頃、陽の当たりが春を感じさせる暖かさになってきたように思います。太陽の光がなかったらわれわれ人間は、もちろん全ての生き物、植物は生きることができません。太陽はいつまで、照り続けることができるのでしょうか？

われわれの世界は宇宙が創造され、太陽、惑星、月、星・・・と創造されました。ある説によれば、宇宙のはじまりは137億年前といわれています。太陽は46億年経っていると言われており、寿命は100億年だそうですから、あと54億年は地球を照らし続けてくれるでしょう。自然は終わりがあります。

聖書の信仰には「初めがあり、終わりがあります」。信仰者に大切なことは、終わりがあるという信仰です。その「終わり」がどのような状況、状態なのかは時代によって受けとめ方が違いました。

私たちはどのような信仰姿勢で生きていくのが求められているのでしょうか。

（山下誠也）